

2021.1.28 thu

vol. 3

福島ロータリークラブ通信



ロータリーは社会の扉を開く

【事務所】福島市万世町2-5 福島銀行本店内9F
【TEL】024-536-1010 【FAX】024-536-1011【mail】f-rotary@guitar.ocn.ne.jp
info@f-rotary.com<http://www.f-rotary.com/>

今週も例会が休会となっておりますので、クラブ通信をお届けいたします。

加藤義朋会員より、福島RC創立70周年記念として、米山記念奨学会クラブ創立記念特別寄付10万円をご寄付いただきました。こちらは「クラブ表彰」となりまして、楯が表彰品として贈られることになっております。

会長あいさつ



2020-21年度 会長 五阿弥 宏安

福島ロータリークラブの会員のみならず、いかがお過ごしでしょうか？11都府県に緊急事態宣言が発令されて3週間が経ちますが、コロナ禍はまだまだ収まる気配はありません。クラブの例会も緊急事態宣言の期間中(2月7日まで)は休会と致しますので、どうかご理解ください。

先週1月21日には試験的にオンライン配信に取り組みました。ご覧になった会員の方もいらっしゃると思いますが、いかがだったでしょうか。会員同士が集う「リアルな例会」に優るものはありませんが、コロナの感染次第では今後、オンラインによる例会実施もありえると思っておりますので、いつでも対応できるようにしてまいります。

さて、来週は節分です。「鬼は外、福は内」の声が家庭などで聞かれることでしょうか。でも今年は節分の日が2月3日ではなく、2月2日だとご存じでしたか？節分が2月2

日になるのは、明治30年(1897年)以来124年ぶりだそうです。節分は2月3日と思い込んでいた私は、それを聞いてびっくりしました。

調べてみると、本来、節分は「季節の分かれ目」のことで、四季の始まりである立春・立夏・立秋・立冬のそれぞれの前日を指す言葉でした。そのうち立春の前日だけが残り、今に至っているそうです。

立春の日がなぜずれるかということ、1年の長さが365日ちょうどではなく、365日と約6時間かかるからで、4年に一度閏年が設けられているのも暦のずれを修正するためです。立春は普通、2月4日ですが、今年は2月3日となり、その前日の2月2日が節分となるわけです。

ちなみに約37年前の昭和59年(1984年)は立春が2月5日、節分は2月4日だったそうです。私は記憶がありませんが、覚えていらっしゃる会員もいることでしょうか。

来年以降は節分の日が2月3日に戻りますが、2025年からしばらくは4年ごとに2月2日になるというから頭も混乱しますね。

来月2日の節分の日にはコロナという鬼に向かって「鬼は外」と元気に豆をまいて、退散を願いましょう。

幹事あいさつ



2020-21年度 幹事 佐藤 美奈子

小学校で英語を教えますが、学校ではコロナ禍の中、様々な対策が取られています。換気、消毒、手洗いは徹底され、換気に至っては窓とドアが開いているので先生方は薄手のダウンを着たり、ホッカイロを貼ったりと防寒対策をとり、かくいう私も厚手のジャケットを着て授業に臨んでいます。それでも半袖の子どもが何人かいて、「走っているから寒くありません」と元気に言われるので笑ってしまいます。(笑)

去年の七夕には「早くマスクを取ることが出来ますように」と書かれた短冊が沢山飾られていました。今は「コロナに負けるな」「全集中」と書かれたポスターがあちこちに貼られています。もうすぐ今年度の授業も終了しま

すが、子どもの一年の成長は目まぐるしく、発達障害で座ることもできなかった子どもが、3学期になると1時間座れるようになり、さらには授業中何度も手を挙げて発言したり、「英語が大好きになり習いに行きます」と報告してくれたり、「先生楽しいから帰らないでください」とドアのところで通せん坊する子どもがいたり嬉しく感動する場面に何度も遭遇します。その結果、私も全集中して教えることに…。

子どもは正直で、こちらが疲れていたりするとすぐ見破られて集中しなくなってしまうので、私も力が入ります。ただ、あまり入り過ぎるとそれも良くないらしく、ほどほどに力を抜くことも大事なようです。どのクラスでも大切なことは最初の元気な挨拶で、その日の教室の雰囲気が決まります。先生曰く、新学期の1週目で、教室の一年の雰囲気が決まるとか…。

今年一年、私も元気に挨拶しながら、明るく楽しく活動したいと思います。ほどほどに力を抜きながら…。(笑)

私のひとこと

横山 淳 会員



東京から福島に来て初めて桃の花を見ました。とても綺麗でした。これまで『桃』は果物か色しか思いが巡りませんでした。そして疑問が起きました。「桜」「梅」を詠んだ短歌は、古来たくさんありますが「桃」を詠んだ短歌は覚えがありません。少なくとも古今和歌集にはありません。しかし、県庁の

隣、板倉神社で私は見つけました。立派な歌碑を。
～つばくらめ ちちと飛び交ひ 阿武隈の
岸の桃のはな 今さかりなり～

大正5年若山牧水が福島に滞在した時に詠んだ歌です。50年後の1960年歌碑が建立される時、古関裕而氏が曲を付け「阿武隈の歌」として知られるようになったようです。あるべき地にあるべき歌はありました。桃の花、今年はマスクなしで愛でられれば…。

会員の皆様より

※原稿をお寄せいただきましたのでご紹介いたします。



損害保険ジャパン(株)
福島自動車営業部長

小野 悦也 会員

新型コロナが猛威を振るい、再度緊急事態宣言発出という2021年の幕開けとなりました。幸い、私たちの仕事は感染防止対策を強化しながら継続できておりますが、この機会も使い、想定外のことが起ころうとも、福島や県内の各事業、お客さまに貢献できるレジリエンスな体制作りに静かにしながら勤しんでいます。

好きなお酒を飲む機会は、めっきり減りましたが、たまに旧友たちとリモート飲み会などをやっています。距離にすると1,000km超の遠い地の友人などともこうして会話できることに新鮮さも覚えています。逆に以前よりコンタクト機会が増えているなども実感しています。

医療従事の皆さまをはじめ、多くの皆さまが苦境に立たされていると推察しますが、皆さまと明るい未来を望んでいきたいと思えます。本年もご指導のほど宜しくお願い申し上げます。



福島日産自動車(株) 代表取締役社長

金子 與志人 会員

～ブランドイメージ～

日産自動車のイメージは?のアンケート回答の一位はキムタクこと木村拓哉さんになりました。それ以前は、良い時も悪い時もミスターG(前会長)であったのでキムタクには感謝です(笑)。ブランドイメージキャラクターには、井上陽水さん、矢沢永吉さん、そして木村拓哉さんが頭に浮かびます。どうやってキャラクターが決まるのかはメーカー判断ですが、聞くところによると老若男女に受けが良く知名度がそうです。

人それぞれ好みや感覚が異なるので、全員が良いとはなりません。私が木村拓哉さんのCMを先行で見せてもらった時には鳥肌が立ちました。SMAP解散で木村さん自身苦労したことからの思いがCMのセリフと重なり、木村さん側スタッフは涙目になったとか、ならないとか…。しかし、一番喜んでいたのは写真集を持っていた過去のある妻でした。



仙建工業(株) 取締役 福島支店長

狩野 安則 会員

国鉄分割民営化を目前にした昭和60年3月末、スイッチバックの奥羽本線赤岩駅の下見のために福島駅から普通列車に乗り込んだ。庭坂駅を出ると風景は一変し、急な上り坂を上るように列車は山奥へ。トンネルをぬけるごとに山深くなっていく。突然ガタンガタンと分岐器を

通過する音が聞こえて列車は平らな折り返し線へ入った。ほどなく、列車がバックすると、小さな駅舎と待合室を通り過ぎホームに到着。ここが明日から勤務する赤岩管理室のある駅かと車窓から確認し、板谷、峠、大沢と次々スイッチバックの駅を後にして米沢まで行き福島へ戻った。奥羽本線初体験の日であった。

翌日、4月1日福島保線区に出勤し、庭坂保線支区赤岩管理室在勤を命ぜられ、上司の香田管理長と夕刻事業用車のバンに乗り込み、何故か運転手付きであったが気にすることなく、40分ほど走った山奥の部落「大笹生大平」に到着した。「さあ降りるぞ」と管理長から言われ車を降りると事業用車は、そのまま戻って行った。運転手付きはそういうことだった。管理長から「管理室に降りるぞ!」と言われ、道のように道ではないような山道を降りていくと、保線工事用の道具を持った作業員の方たちが次々と登ってきた。更に降りると、おじさんが二人登ってきて「おお香田君、あんたが狩野君か、よろしくな!」と言って登って行った。大笹生部落の「かんた」と「とくじ」さんと教えられた。30分程降りたら、前日列車の車窓から見た景色が現れてきて、ホッとしたことが昨日のように蘇る。

翌日、列車で出社したが、あっという間に昼食の時間となった。みんな弁当を持参していたが、私はキヨスクが駅舎内にあると思っ外に出かけた。待合室にあったのは、赤いハイヒールや長靴が入った下駄箱だけ、隣の駅舎には、1人で勤務している職員のみであった。管理室に戻ると「おめ～、大学出てるって言ったけどバカだない!」と笑われておにぎりを1個分けてもらって食べた。「こんな山奥にキヨスクなんかあるわけね～べな～」でした。

仕事は、線路沿線に道路が無いので、毎日、保線作業用の重い道具を持ち、弁当とみんなのお茶を入れたリュックを背負いながら、38/1000の特別な急勾配の線路を上って仕事に行き、帰りは下り。朝に下りの庭坂方面に行けば、帰りの上りの道のりは大変。165cm50kgの小柄な私の身体には、強烈な試練の日々になった。全てが自らの体が勝負。「保線魂」はここで体と心に叩き込まれた。夕方、赤岩駅に列車が着くと毎日「かんた」と「とくじ」さんが山仕事から帰ってきて管理室に顔を出した。ワンカップで気合を入れてから大笹生部落へと帰って行くのが日課だった。2人は、冬季ハンターなのでウサギ追いも経験させてもらった。3ヶ月後、仙台鉄道管理局管内で唯一事業用車の配置の無い山奥の赤岩管理室は廃止となった。

それから28年後、再び福島に勤務する機会を得た。既に大笹生部落の世帯数は、数件となり、冬期赤岩駅を全列車が通過するようになっていた。駅利用者減少の為、年間を通じて列車を通過させる計画があり、町内会長の佐藤様宅へ行ってほしいという役割を得た。福島から久しぶりに大笹生部落に向かい、佐藤様宅を訪ねると、なんと徳治(とくじ)さん宅であった。既に菅田さんは他界されたと聞いた。そんな年月の流れで赤岩駅を全列車が通年通過、今年3月12日駅廃止になる。青春の思い出の勤務地「赤岩」。赤岩駅が廃止されても我が心の奥底に残る思い出は、深く大きい。

今後の 例会予定	2月11日(木)	祝日のため休会
	2月18日(木)	通常例会(予定)
	2月25日(木)	通常例会(予定)

*自粛要請期間の2月7日までは休会と致します。
感染状況によっては変更もありますので改めてご連絡いたします。